

土木施工管理技士会 越谷支部

ICT建機を学ぶ

コマツ担当者招き講習

埼玉県土木施工管理技士会越谷支部（金澤嘉和） 6日、越谷市中央市民会



約50人がICT施工を学んだ

館で「技術講習会」コマツのスマートコンストラクションについて」を開催した。コマツ国内販売本部ソリューション推進部スマートコンストラクショングループの山本義実氏を講師に招き、ICT建機の概要と使用に必要なことなどを学んだ。

当日は技士会支部員ほか、越谷県土整備事務所から木崎秀夫所長ら3人、八潮新都市建設事務所から2人、総合治水水道事務所から1人の合計約50人が出席した。

講習内容は①国土交通省「ICT Construction」の概要・普及状況・普及のための施策②コマツスマートコンストラクション③ICT建機④ICT建機の概要・ICTを使うために必要なこと⑤スマートコンストラクションのソリューション⑥スマートコンストラクションアプリ（施工現場を3次元データでつなぐ）⑦建築分野へのICT施工への展開（クイックスマートコンストラクション）⑧日々の施工の見え化（Everyday Droneなど）を中心に進められた。

労働力不足は深刻な建設業の課題であることから、コマツでは解決策として2015年2月に

「未来の現場」の実現に向けてスマートコンストラクション部門を立ち上げ、現場の生産性を上げ、工期を短縮することで人手不足を解消し、ほとんどん仕事を進めていくことを目標としている。

講習会ではICT施工における埼玉県の現状、ICTブルドーザーやICT油圧ショベルの自動制御について、ICT施工の流れとなる3次元出力管理等の施工管理（UAV測量）、ドローンによる3次元起工測量などにも話を掘り下げた。今回の講習会はCPDS認証講習となっている。